

学 会 发 表

Themes Presented at Conference and Society Meetings

(2007.4-2008.3)

学会発表等

＜一般学会＞

(代表執筆者(先頭に氏名を記載)が所外研究者の場合は、当該研究の共同研究者となっている所内代表研究者にアンダーラインを記した。)

【微生物】

貞升健志, 森功次, 林志直, 長谷川道弥, 野口やよい, 秋場哲哉, 吉田靖子, 矢野一好: ノロウイルス感染拡大の原因解明のための模擬吐物落下実験による吐物液の広がり方に関する検討, 第 28 回日本食品微生物学会学術総会(東京), 2007.

門間千枝, 下島優香子, 小西典子, 尾畑浩魅, 石崎直人, 仲真晶子, 甲斐明美, 柳川義勢, 山田澄夫: カナマイシンに感受性を示すウエルシュ菌食中毒事例と分離菌株の性状, 第 28 回日本食品微生物学会学術総会(東京), 2007.

新井輝義, 池内容子, 岸本泰子, 石崎直人, 千葉隆司, 柴田幹良, 秋場哲哉, 甲斐明美, 矢野一好: 食品からのセレウス菌分離状況と分離株のセレウリド産生性, 第 28 回日本食品微生物学会学術総会(東京), 2007.

千葉隆司, 和宇慶朝昭, 貞升健志, 根岸潤, 林研介, 高橋由美, 山田澄夫, 甲斐明美, 矢野一好: 食品製造工場から分離した酵母の塩基配列解析による同定と汚染源の解析, 第 28 回日本食品微生物学会学術総会(東京), 2007.

秋場哲哉, 田中達也, 森功次, 野口やよい, 林志直, 小沼博隆, 吉田靖子, 山田澄夫: カキからのノロウイルス RNA 抽出方法の検討, 第 28 回日本食品微生物学会学術総会(東京), 2007.

森功次, 林志直, 白澤浩, 秋場哲哉, 野口やよい, 永野美由紀, 吉田靖子, 矢野一好: 食品からのウイルス回収における界面活性剤の効果, 第 28 回日本食品微生物学会学術総会(東京), 2007.

河村真保, 横山敬子, 高橋正樹, 柴田幹良, 松下秀, 甲斐明美, 矢野一好: 2006 年分離赤痢菌の菌種・血清型と薬剤耐性, 第 47 回感染性腸炎研究会(東京), 2008.

甲斐明美: シンポジウム「感染症法改正に伴う病原体の検査・輸送・保管の問題点について(3類感染症を中心に)」地研の立場から, 第 47 回感染性腸炎研究会(東京), 2008.

甲斐明美, 横山敬子, 高橋正樹: シンポジウム「人畜共通感染症病原体との戦い」カンピロバクター感染症の疫学と対策, 第 143 回日本獣医学会学術総会(つくば市), 2007.

下島優香子, 尾畑浩魅, 小西典子, 門間千枝, 上原さとみ, 仲真晶子, 甲斐明美, 矢野一好: リアルタイム PCR 法を応用した腸炎ビブリオ生菌数の迅速測定法, 平成 19 年度日本獣医師会学会年次大会(高松), 2008.

刈部昌彦, 山岸善樹, 齋藤修, 園田康行, 貞升健志, 新開敬行, 横山敬子, 高橋正樹, 鈴木淳: 奥多摩町における野生シカ食用肉化の安全確保について, 全国公衆衛生獣医師協議会(東京), 2007.

下島優香子, 尾畑浩魅, 小西典子, 仲真晶子, 甲斐明美, 矢野一好: リアルタイム PCR 法を応用した腸炎ビブリオ生菌数の迅速測定法, 全国公衆衛生獣医師協議会平成 19 年度調査研究発表会(東京), 2007.

甲斐明美: 志賀潔記念・公開シンポジウム「赤痢菌発見から 110 年 伝染病から輸入感染症・食中毒そして人畜共通感染症へ」輸入感染症・食中毒の時代, 第 55 回日本化学療法学会総会(仙台), 2007.

門間千枝, 金子誠二, 下島優香子, 小西典子, 尾畑浩魅, 仲真晶子, 甲斐明美, 柳川義勢: 食中毒患者等から分離されたエンテロトキシン産生性ウエルシュ菌の *cpe* 遺伝子の存在部位について, 第 81 回日本細菌学会総会(京都), 2008.

小西典子, 尾畑浩魅, 下島優香子, 門間千枝, 仲真晶子, 河村真保, 横山敬子, 甲斐明美, 山田澄夫: 過去 7 年間の東京都における腸管出血性大腸菌感染症の発生状況と分離菌株の性状, 第 81 回日本感染症学会総会(京都), 2007.

小西典子, 尾畑浩魅, 下島優香子, 上原さとみ, 門間千枝, 仲真晶子, 甲斐明美, 矢野一好: 東京都内で分離された毒素原性大腸菌の性状, 第 90 回日

本細菌学会関東支部総会(東京), 2007.

小西典子, 下島優香子, 尾畑浩魅, 横山敬子, 上原さとみ, 門間千枝, 仲真晶子, 甲斐明美, 矢野一好: 遺伝子検査法と培養法を併用した食品からのベロ毒素産生性大腸菌の検出状況, 第 11 回腸管出血性大腸菌感染症シンポジウム(長野), 2007.

小西典子, 尾畑浩魅, 下島優香子, 上原さとみ, 門間千枝, 仲真晶子, 甲斐明美, 矢野一好: 腸管出血性大腸菌検査において一考を要した事例について, 第 12 回腸管出血性大腸菌感染症シンポジウム(東京), 2008.

千葉隆司, 根岸潤, 和宇慶朝昭, 高橋由美: 食品製造工場における真菌の汚染源調査, 第 34 回カビ毒研究連絡会(千葉), 2007.

貞升健志, 長島真美, 新開敬行, 尾形和恵, 吉田靖子, 矢野一好: 東京都内保健所等の HIV 検査陽性例の血清学的、遺伝子学的解析, 第 21 回日本エイズ学会学術集会・総会(広島市), 2007.

長島真美, 貞升健志, 新開敬行, 尾形和恵, 吉田靖子, 矢野一好: イムノクロマト法における陽性例と偽陽性例の判定ライン出現時間の比較, 第 21 回日本エイズ学会学術集会・総会(広島市) 2007.

貞升健志, 林志直, 秋場哲哉, 森功次, 高橋剛, 長谷川道弥, 野口やよい, 吉田靖子, 矢野一好: バキキュロ発現系により作製したノロウイルス由来蛋白質の加熱による抗原性の変化, 第 55 回日本ウイルス学会学術集会(札幌), 2007.

森功次, 林志直, 白澤浩, 秋場哲哉, 野口やよい, 吉田靖子, 矢野一好: Norovirus の代替指標として Feline Calicivirus を用いた、加熱および市販薬剤によるウイルス不活化効果の比較, 第 55 回日本ウイルス学会学術集会(札幌), 2007.

【医薬品】

高橋美佐子, 鈴木仁, 長嶋真知子, 瀬戸隆子, 安田一郎: 簡易検査及び MS 分析による生体試料中の薬物鑑定, 日本薬学会第 128 年会(横浜), 2008.

鈴木仁, 高橋美佐子, 長嶋真知子, 瀬戸隆子, 安田一郎: 誘導体化 GC/MS による麻薬及び違法ドラッグの分離, 日本薬学会 128 年会(横浜), 2008.

守安貴子, 蓑輪佳子, 岸本清子, 門井秀郎, 佐藤裕美子, 安田一郎, 深谷晴彦: 健康食品より単離した新規シルデナフィルとその立体, 日本薬学会第 128 年会(横浜), 2008.

瀬戸隆子, 長嶋真知子, 高橋美佐子, 鈴木仁, 安田一郎: 5-MeO-Tryptamine 系薬物の識別法, 日本薬学会第 128 年会(横浜), 2008.

安田一郎, 蓑輪佳子, 岸本清子, 守安貴子, 川崎寛一, 諏訪淳一, 蓮井謙一, 小川一步, 寺口勝久, 渡邊恭子: 院内製剤の使用期限を延長する試み—1% 内服用ルゴール液及びペパーミントオイルの安定性—, 第 40 回日本薬剤師会学術大会(神戸), 2007.

荒金眞佐子, 吉澤政夫, 鈴木幸子, 北川重美, 浜野朋子, 安田一郎, 福田達男, 佐々木陽平, 南雲清二: 指定薬物 *Salvia divinorum* の鑑別に関する研究, 日本生薬学会第 54 回年会(名古屋), 2007.

柴野ゆう, 中村耕, 山田直樹, 山崎守義, 飛田誠一, 根岸良市, 前川恵, 田中裕子, 野口俊久: 東京都多摩地域におけるタンク保有毒物劇物(業務上取扱者を要しない)の取扱い・保管状況について, 第 40 回日本薬剤師会学術大会(神戸), 2007.

【食品】

田端節子, 岩崎由美子, 飯田憲司, 木村圭介, 嶋村保洋, 伊藤弘一, 和宇慶朝昭, 井部明広: ブドウ加工品のパツリン汚染, 第 94 回日本食品衛生学会学術講演会(静岡), 2007.

齊藤史朗, 熊谷進, 中島正博, 田端節子, 田中敏嗣, 佐藤敏彦, 吉池信男, 伊藤嘉典, 小西良子: 日本におけるアフラトキシンの暴露評価(平成 16-18 年度), 第 94 回日本食品衛生学会学術講演会(静岡), 2007.

中島正博, 青山幸二, 石黒瑛一, 堤徹, 法月廣子, 大須賀裕美, 藤田和弘, 甲斐茂美, 田端節子, 杉浦義紹, 田中敏嗣, 田中宏輝, 高橋正紀, 伊藤嘉典, 小西良子, 熊谷進: 日本に流通する食品中のオクラトキシニン A およびフモニシン汚染実態調査(平成 16-18 年度), 第 94 回日本食品衛生学会学術講演会(静岡), 2007.

荻本真美, 植松洋子, 鈴木公美, 樺島順一郎, 伊藤弘一, 中里光男: 既存添加物(着色料)中の重金属類含有量調査, 第 94 回日本食品衛生学会学術講演会(静岡), 2007.

小林麻紀, 高野伊知郎, 田村康宏, 富澤早苗, 立石恭也, 酒井奈穂子, 上保恭子, 井部明広: 輸入穀類加工品中の残留農薬実態調査, 第 93 回日本食品衛生学会学術講演会(東京), 2007.

林洋, 牛山慶子, 草野友子, 竹葉和江, 坂本美穂, 神田真軌, 井草京子, 小山内たか, 井部明広: LC/MS による畜産食品中のポリエーテル系抗生物質の分析, 第 93 回日本食品衛生学会学術講演会(東京), 2007.

松本ひろ子, 平田恵子, 坂牧成恵, 萩野賀世, 永山敏廣: HPLC による食品中のネオテーム, アリテーム, アスパルテームの同時分析法, 第 93 回日本食品衛生学会学術講演会(東京), 2007.

渡部健二郎, 安田和男, 大石充男, 伊藤澄夫, 岸弘子, 佐藤恭子, 杉本敏明, 森曜子: 飲食物試験法、食品添加物試験法、サイクラミン酸: GC/MS 及び LC/MS による定性, 日本薬学会 第 128 年会(横浜), 2008.

高野伊知郎, 小林麻紀, 大塚健治, 田村康宏, 富澤早苗, 酒井奈穂子, 上條恭子, 影山百合子, 永山敏廣: 食品中残留農薬の系統別一斉分析法(第 2 報), 日本薬学会 第 128 年会(横浜), 2008.

坂本美穂, 竹葉和江, 草野友子, 牛山慶子, 井草京子, 林洋, 神田真軌, 小山内たか, 永山敏廣: LC/MS/MS による鰻・鰻加工品中のトリフェニルメタン系色素及びメチレンブルーの分析, 第 13 回 LC テクノプラザ(千葉), 2008.

田端節子, 飯田忠司, 木村圭介, 下井俊子, 山嶋裕季子, 岩崎由美子, 高野伊知郎, 永山敏廣, 井部明広: 健康食品に含まれる有害成分ーアガリクス、ウコン、ハーブについてー, 第 34 回カビ毒研究連絡会(千葉), 2007.

田端節子, 岩崎由美子, 飯田憲司, 木村圭介, 井部明広: 国内におけるリンゴ等のパツリン汚染の傾向と対策, 日本マイコトキシン学会第 63 回学術講演会(東京), 2008.

[生活環境]

斎藤育江, 大貫文, 矢口久美子, 上原眞一, 金澤文子, 竹田誠, 荒木敦子, 岸玲子: ミニサンプラーを用いた室内空気中可塑剤、難燃剤、殺虫剤の一斉分析法, 日本内分泌攪乱化学物質学会第 10 回研究発表会(大宮), 2007.

斎藤育江, 大貫文, 多田宇宏, 福田雅夫, 矢口久美子, 上原眞一: 住宅室内のテトラデカン発生源調査, 平成 19 年度室内環境学会(仙台), 2007.

大貫文, 斎藤育江, 矢口久美子, 上原眞一: DNPH 誘導体化-HPLC 法を用いたアルデヒド類測定における空気清浄機の影響, 平成 19 年度室内環境学会総会・研究発表会(仙台), 2007.

狩野文雄, 清水晋, 山崎省二, 柳宇, 高鳥浩介: 微生物を中心とした空調システムの実測調査, 第 25 回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会(東京), 2007.

狩野文雄, 山崎省二, 高鳥浩介, 横地明, 柳宇, 篠原克明, 池田耕一: クリーンルームの微生物汚染評価, 第 25 回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会(東京), 2007.

鈴木俊也, 宇佐美美穂子, 永山敏廣: 都市河川水中の非ステロイド系消炎鎮痛剤ナプロキセンの存在と挙動, 第 16 回環境化学討論会, 2007.

鈴木俊也, 宇佐美美穂子, 保坂三継: 都市河川水中の精神科用薬の実態調査, 日本薬学会第 128 年会(横浜), 2008.

猪又明子, 武藤千恵子, 保坂三継: 水道原水・浄水における原虫類並びに糞便汚染指標細菌類調査結果(平成 17 年度, 18 年度), 日本水処理生物学会第 44 回大会(富山), 2007.

横山克弘: 特定建築物における状況について, 第 35 回建築物環境衛生管理全国大会(大阪), 2007.

長野龍洋: 学校における水使用量の実態調査, 平成 19 年度空気調和・衛生工学会大会(宮城), 2007.

[生体影響]

五十嵐麻希, 吉田 緑, 渡邊 学, 阿部正義, 菅野純

夫, 中江 大: Ogg1 欠損マウスにおけるNHK誘発肺増殖性病変のEGFR突然変異, 第 24 回日本毒性病理学会年次学術集会(愛知), 2008.

Floyd RA., Kotake Y., Towner RA., Nakae D., Konishi Y. : The role of inducible nitric oxide synthase (iNOS) and nitric oxide in cancer development, 第 24 回日本毒性病理学会年次学術集会(愛知), 2008.

西川秋佳, 鰐淵英機, 原田孝則, 田村一利, 中江 大, 玉野静光, 小川勝洋: 肝臓の増殖性病変, 第 8 回日本毒性病理学会教育セミナー(東京), 2007.

多田幸恵, 矢野範男, 高橋博, 湯澤勝廣, 安藤弘, 久保喜一, 長澤明道, 小縣昭夫, 上原眞一, 中江大: ラットにおける L-アスパラギン酸の 90 日間反復経口投与毒性試験, 第 24 回日本毒性病理学会年次学術集会(愛知), 2008.

Maruyama H., Tsutsumi M., Kuniyasu H., Nakae D., Kameya T., Tatsumi M. : Expression of insulin-like growth factor II by a stomach cancer associated with hypoglycemia, 第 66 回日本癌学会総会(神奈川), 2007.

Abe M., Juneja LR., Nakae, D. : Evaluation of carcinogenic risks of copper gluconate and catechins in a medium-term rat liver bioassay, 第 66 回日本癌学会総会(神奈川), 2007.

Igarashi M., Yoshida M., Watanabe M., Abe M., Sugano S., Nakae D. : Lung carcinogenesis induced by NNK in Ogg1 knockout mice, 第 66 回日本癌学会総会(神奈川), 2007.

中江 大, 阿部正義, 臼田浩二, 古川 賢, 鈴木紀子, 吉田 緑, Juneja, LR., 大久保 勉: ラット中期多臓器発がん性試験法により検出されたグルコン酸銅の肝・前胃発がん性に対する緑茶カテキンの抑制効果, 第 14 回日本がん予防学会(東京), 2007.

辰巳公平, 大橋一夫, 柴田 優, 嶋 緑倫, 片岡美穂, 立野知世, 吉里勝利, 久永倫聖, 金廣裕道, 中嶋祥介, 中江 大, 吉岡 章: 血友病B新規治療法としての細胞治療の実現化をめざした肝細胞増殖系の確立, 第 14 回肝細胞研究会(鹿児島), 2007.

田山邦昭, 藤谷知子, 安藤弘, 久保喜一, 高橋博, 長澤明道, 矢野範男, 湯澤勝廣, 小縣昭夫, 上原眞一: マウス新生仔に低用量投与したDESの持続的精子障害性—機器計測による検出, 日本薬学会第 128 年会(横浜), 2008.

佐藤かな子, 野中良一, 小縣昭夫, 上原眞一, 佐藤毅: 中国製ダイエット食品から検出された N-Nitrosufenfluramine の脳神経系への影響, 日本薬学会 第 128 年会(横浜), 2008.

佐藤かな子, 野中良一, 小縣昭夫, 中江大, 上原眞一: リン酸オセルタミビア(タミフル)とその生体内活性体のラット脳モノアミン神経伝達系におよぼす影響, 日本薬学会 第 128 年会(横浜), 2008.

不破達, 小縣昭夫, 田中豊人, 福森信隆, 久保喜一, 湯澤勝廣, 安藤弘, 矢野範男, 長澤明道, 高橋博, 中江大, 上原眞一, 上村尚, 本多芳子, 児玉亨: 違法ドラッグ、パラメトキシメタンフェタミン(PMMA)の中樞神経作用, 日本薬学会 第 128 年会(横浜), 2008.

中川好男, 鈴木俊也, 小縣昭夫: 臭素系難燃剤・テトラプロモビスフェノールAのラット肝細胞における代謝と毒性機序, 日本薬学会 第 128 年会(横浜), 2008.

大山謙一, 斎藤育江: 環状シロキサンのホルモン様作用, 第 48 回大気環境学会年会(岡山), 2007.

坂崎文俊, 知念尚恵, 松尾真理, 佐藤かな子, 大山謙一, 上野仁, 中室克彦: パラベン類を投与したマウスにおける接触性過敏反応の増強, 環境ホルモン学会 第 10 回研究発表会(大宮), 2007.

大山謙一, 齋藤弘明, 内山武人, 牧野三津子, 藤木康雄, 中川順一, 矢口久美子, 上原眞一: ノニルフェノール異性体のホルモン様作用, 環境ホルモン学会 第 10 回研究発表会(大宮), 2007.

清水碧, 押尾茂, 武田健, 野中良一, 佐藤かな子: ニトリルブタジエンゴム手袋由来化学物質の胎仔期投与における脳内モノアミン神経系への影響, 衛生薬学・環境トキシコロジー(大阪), 2007.

阿部正義, 臼田浩二, 古川 賢, Raj, J.L., 大久保勉, 中江 大: ラットにおけるグルコン酸銅およびカテキンの単独または複合投与による肝発がんリスクの検索, 第 34 回日本トキシコロジー学会学術年会(東京), 2007.

田山邦昭, 藤谷知子, 安藤弘, 久保喜一, 小縣昭夫, 上村尚: マウス精子の形態異常マーカーとしての粒子分析装置における粒度分布パラメーターについて, 第 34 回日本トキシコロジー学会学術年会(東京), 2007.

田中豊人, 高橋省, 大石眞之, 小縣昭夫, 中江大, 上原眞一: 食用黄色 4 号のマウスの行動発達に及ぼす影響, 第 34 回日本トキシコロジー学会学術年会(東京), 2007.

西克典, 不破達: 線条体 6-ヒドロキシドパミン (6-OHDA) 投与ラット黒室の長期観察, 第 1 回 Movement Disorder Society, Japan 学術集会(東京), 2007.

【公衆衛生】

池田一夫, 飯野利明, 小池和子, 永田博司, 倉科周介: 自立不全の総合的制御—地域介護量の圧縮を目指して 第 10 報 わが国の死亡動向の長期的展望から, 第 66 回日本公衆衛生学会総会(愛媛), 2007.

池田一夫, 瀧岡陽子, 倉科周介: 我が国における世代出生数の動向, 日本人口学会第 59 回大会(松江), 2007.

<地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部研究会>

第 22 回ウイルス研究部会 (茨城, 2007)

長谷川道弥, 岩崎則子, 岡崎輝江, 田部井由紀子, 吉田靖子, 矢野一好: 東京都内で検出された麻疹ウイルスの遺伝子解析.

長島真美, 秋場哲哉, 林直志, 尾形和恵, 森功次, 野口やよい, 永野美由紀, 吉田靖子, 矢野一好: 食中毒事例の糞便検体を用いたノロウイルス検出キットの比較.

第 20 回細菌研究部会 (千葉, 2008)

横山敬子, 高橋正樹, 柴田幹良, 河村真保, 甲斐明美, 矢野一好: 魚介類を対象としたコレラ菌検査における培養温度の影響について.

向川純, 三宅啓文, 吉田勲, 柳川義勢, 矢野一好: 結核集団感染症事例における分子疫学的解析法としての VNTR 法の応用.

三宅啓文, 吉田勲, 向川純, 柳川義勢, 矢野一好: 東京都における結核菌感染診断用インターフェロン- γ 測定検査の実施状況 (2007 年 4 月~12 月).

第 20 回理化学研究部会 (長野, 2008)

森内理江, 門間公夫, 鷺直樹, 井部明広: GM quicker を用いた大豆および大豆加工食品からの DNA 抽出について.

岩崎由美子, 田端節子, 飯田憲司, 伊藤弘一, 井部明広: シナモン含有食品中のクマリンの分析.

下井俊子, 茅島正資, 観公子, 井部明広: 輸入食品中の特定原材料 (小麦, 乳) 検査事例.

堀江正男, 田口信夫, 大石充男, 中島和雄, 山嶋裕季子, 宮川弘之, 中里光男: 食品中のステビオサイド, レバウディオサイド A, グリチルリチン酸の LC/MS を用いた簡便な確認法について.

安井明子, 大石充男, 早藤知恵子, 小林千種, 新藤哲也, 小沢秀樹, 中里光男: 小麦粉および小麦粉調整品中のアゾジカルボンアミドの分析.

鈴木敬子, 前潔, 石川ふさ子, 貞升友紀, 藤原卓士, 小川仁志, 中里光男: 固相抽出を用いた天然着色料の分析法.

大貫文, 斎藤育江, 多田宇宏, 福田雅夫, 矢口久美子, 上原眞一: シックハウス対策住宅における室内空气中化学物質濃度調査結果.

中嶋順一, 浜野朋子, 塩田寛子, 安田一郎: 植物系ドラッグに含まれるアルカロイドの分析事例.

中村義昭, 森謙一郎, 寺島潔, 大貫奈穂美, 宮本道子, 荻野周三, 斉藤和夫: 化粧品に配合可能な医薬

品の成分について「承認化粧品成分」の分析結果.

**<衛生微生物技術協議会>
第 28 回研究会(岡山, 2007)**

小西典子: 下痢原性大腸菌による食中毒・感染症の発生状況.

奥野ルミ: 老人保健施設における感染事例.

田部井由紀子: 東京都における日本脳炎ウイルスの侵淫状況.

**<公衆衛生情報研究協議会>
第 21 回研究会(埼玉, 2008)**

神谷信行: 地方感染症情報センターの現状—アンケート調査の結果から—.

**<全国衛生化学技術協議会>
第 44 回年会(三重, 2007)**

鈴木仁, 高橋美佐子, 長嶋真知子, 瀬戸隆子, 安田一郎: 都内に流通する外国製無承認無許可医薬品の分析事例—成分・組成不明の医薬品等—.

塩田寛子, 浜野朋子, 中嶋順一, 安田一郎: エッセンシャルオイル模造品に混入された違法ドラッグ成分の検出例.

吉澤政夫, 荒金真佐子, 鈴木幸子, 北川重美, 安田一郎: 都内で異常繁殖するアツミゲシの新しい鑑別法.

宮本道子, 横山敏郎, 森謙一郎, 中村義昭, 大貫奈穂美, 寺島潔, 荻野周三, 斉藤和夫: 種類別化粧品中紫外線吸収剤の検査結果(平成 16~18 年度)—同時分析法の改良—.

大貫奈穂美, 中村義昭, 寺島潔, 森謙一郎, 宮本道子, 荻野周三, 斉藤和夫: 種類別化粧品中の色素検査結果(平成 16~18 年度)—色素データベースの活用—.

森謙一郎, 中村義昭, 大貫奈穂美, 寺島潔, 宮本道子, 荻野周三, 斉藤和夫: 種類別化粧品中防腐剤の

検査結果(平成 16~18 年度).

前野智和, 横山敏郎, 山野辺秀夫, 菊地洋子, 荻野周三, 斉藤和夫: 医療機器における承認規格の問題点と検査法の工夫.

木村圭介, 田端節子, 岩崎由美子, 飯田憲司, 中里光男, 井部明広: 食品の苦情事例.

金子令子, 船山恵市, 羽石奈穂子, 安野哲子, 伊藤弘一, 中里光男: 食品用プラスチック製容器包装のノニルフェノール溶出量調査.

藤原卓士, 宮川弘之, 新藤哲也, 安井明子, 山嶋裕季子, 小川仁志, 大石充男, 岡口信夫, 前潔, 伊藤弘一, 中里光男, 安田和男: 清涼飲料水中のベンゼンの分析.

荻野賀世, 松本ひろ子, 平田恵子, 牛山博文: 加工食品中の特定原材料(小麦)の検査事例.

大山謙一, 佐藤かな子, 野中良一, 坂本義光, 矢野範男, 湯澤勝廣, 長澤明道, 安藤弘, 久保喜一, 高橋博, 小縣昭夫: ポリスチレン容器から溶出するスチレントリマーの内分泌かく乱作用.

栃本博, 小杉有希, 富士栄聡子, 保坂三継, 矢口久美子: 固相抽出-液体クロマトグラフ法による陰イオン界面活性剤の分析に関する精度管理.

小杉有希, 栃本博, 富士栄聡子, 保坂三継, 矢口久美子: 水道水中のナトリウムの分析に関する精度管理.

小西浩之, 富士栄聡子, 栃本博, 小杉有希, 保坂三継, 矢口久美子: 浄水過程における塩素剤中に含まれる塩素酸及び臭素酸の挙動.

鈴木俊也, 宇佐美美穂子, 保坂三継: 塩素処理による水中医薬品の分解.

**<全国薬事指導協議会>
第 44 回総会(大阪, 2007)**

岸本清子, 蓑輪佳子, 門井秀郎, 守安貴子, 佐藤裕美子, 安田一郎: 医療用医薬品の品質確保—検証方法の検討—.

＜東京都福祉保健医療学会＞
平成 19 年度 (2007)

三宅啓文, 向川純, 柳川義勢, 矢野一好: 当センターにおける結核菌感染診断用インターフェロノン γ 測定検査の実施状況と定期外検診における有用性.

長谷川道弥, 岩崎則子, 岡崎輝江, 田部井由紀子, 吉田靖子, 矢野一好: 平成 19 年に都内で大流行した麻しんのウイルス学的解析.

鈴木仁, 高橋美佐子, 長嶋真知子, 瀬戸隆子, 安田一郎: 東京都内に流通する未承認医薬品の分析事例.

新井輝義, 池内容子, 岸本泰子, 石崎直人, 柴田幹良, 甲斐明美, 矢野一好, 観公子, 下井俊子, 牛山博文, 立田真弓, 白石典太: 卸売市場に流通する鮮魚および魚介類加工品のヒスタミン生成菌汚染状況とヒスタミン生成に与える販売・保管温度の影響.

木村智香子, 柿澤幹雄, 植松洋子, 荻本真美, 鈴木公美, 樺島順一郎, 田端節子, 飯田憲司, 岩崎由美子, 木村圭介: 成分規格のない既存添加物(着色料)の品質学的実態調査.

水取敦子, 服部大, 薩埵真二, 岡崎達明, 千葉隆司, 和宇慶朝昭, 田端節子: ドライコンテナによる輸入食品の運送状況等の衛生学的実態調査.

佐々木英子, 根岸潤, 藤沼賢司, 林研介: 乳幼児向け食品の硝酸根について.

伊藤喜教, 坂下一則, 松田澄子, 横山克弘, 蓑島稔, 依田昌樹: 特定建築物における雑用水の実態について.

＜国際学会など＞

Kai A., Konishi N., Obata H., Shimojima U., Uehara S., Monma C., Nakama A., Yano K. : Bacteriological analysis of enterotoxigenic *Escherichia coli* isolated from diarrheal disease in Tokyo, 42nd Annual Joint Panel Meeting, Cholera and Other Bacterial Enteric Infections, Austin, Texas, USA, 2007. (第 42 回日米コレラ及び関連下痢症会議, 米国テキサス

州オースチン)

Monma C., Yanagawa Y., Shibata M., Arai T., Ikeuchi Y., Kaneko S., Ishizaki N., Obata H., Konishi N., Shimojima Y., Nakama A., Kai A., Yano K. : Incidence of *Clostridium botulinum* in commercial foods in Tokyo and experimental inoculation of *C. botulinum* spores in low acid foods, The 44th Interagency Botulism Research Coordinating Committee Meeting, Asiaromar, California, USA, 2007. (第 44 回ボツリヌス症研究会, 米国カリフォルニア州アシロマー)

Mori K., Hayashi Y., Shirasawa H., Akiba T., Noguchi Y., Nagano M., Yoshida Y., Yano K. : Prevalence of Norovirus-related community gastroenteritis in Tokyo from October 2001 to July 2007, Third International Calicivirus Conference, Mexico, 2007. (第 3 回国際カリシウイルス学会, メキシコ)

Ookubo T., Oohashi N., Nagashima C., Nakagawa J., Yaguchi K., Uehara S. : The monitoring of dioxins in fish and shellfish from Tokyo bay, 27th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants, 2-7 September, 2007, Tokyo. (第 27 回残留性有機ハロゲン系汚染物質国際シンポジウム, 東京)

Nakae D., Ogata A., Uehara S., Takahashi M., Totsuka Y., Takahashi M., Wakabayashi K. : Assessment of carcinogenic risks of chemicals applicable for cancer high-risk groups, 27th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants, 2-7 September, 2007, Tokyo. (第 27 回残留性有機ハロゲン系汚染物質国際シンポジウム, 東京)

Oohashi N., Ookubo T., Nakagawa J., Nagashima C., Yaguchi K., Uehara S. : Polybrominated diphenyl ethers in fish and shellfish from Tokyo Bay estuaries, 27th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants, 2-7 September, 2007, Tokyo. (第 27 回残留性有機ハロゲン系汚染物質国際シンポジウム, 東京)

Tada Y., Fujitani T., Yano N., Takahashi H.,

Yuzawa K., Ando H., Kubo Y., Nagasawa A., Ogata A., Kamimura H., Nakae D., Uehara S. : Effects of tetrabromobisphenol A, a flame retardant, on the liver of ICR mice, 27th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants, 2-7 September, 2007, Tokyo. (第 27 回残留性有機ハロゲン系汚染物質国際シンポジウム, 東京)

Sasamoto T., Ushio F., Kikutani N., Saitoh Y., Tatebe H., Yamaki Y., Hashimoto T., Tateishi Y., Baba I., Nakagawa J., Nagayama T., Ibe A., Yasuda, K : Estimation of 1999-2005 dietary daily intake of dioxins by a total diet study in metropolitan Tokyo area, 27th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants, 2-7 September, 2007, Tokyo. (第 27 回残留性有機ハロゲン系汚染物質国際シンポジウム, 東京)

Sakamoto M., Takeba K., Nagayama T. : Determination of Bithionol, Nitroxynil, Oxyaclozanide and Tribromosalan in Livestock Products with Liquid Chromatography Coupled with Tandem Mass Spectrometry, 59th Pittsburgh Conference (New Orleans, USA). 2008. (第 59 回ピッツバーグ・カンファレンス, 米国ニューオーリンズ)

Suzuki T., Usami M., Hosaka M. : Occurrence and Behavior of Anti-inflammatory Drug Naproxen in Aquatic Environment, Society of Toxicology, 47th Annual Meeting (Seattle, Washington USA), 2007. (毒性学会第 47 回年会, 米国ワシントン州シアトル)